

## ○ 令和7年分給与支払報告書の記載例

《例》 松浦 太郎(昭和56年7月1日生まれ・44歳)

◇給与支払額5,000,000円、社会保険料等支払額550,000円

◇新生命保険料の金額84,000円、旧生命保険料の金額30,000円、介護医療保険料の金額12,000円、新個人年金保険料の金額28,000円、旧個人年金保険料の金額121,000円、地震保険料(旧長期損害保険料に相当)支払額100,000円

◇住宅ローン控除額150,000円(平成30年7月1日居住開始)

◇妻は配偶者特別控除該当、長女・長男は扶養親族該当

◆妻:松浦 花子(昭和56年10月1日生まれ・44歳) 令和7年中給与収入1,400,000円(=所得金額750,000円)

◆長女(特定親族):松浦 一恵(平成18年7月1日生まれ・19歳) 令和7年中給与収入1,250,000円(=所得金額600,000円)

◆二女(一般扶養親族):松浦 次子(平成21年8月1日生まれ・16歳) 高校生

◆長男(年少扶養親族):松浦 一郎(平成24年9月1日生まれ・13歳) 中学生

[illegible]

### ① 基礎控除の見直し

合計所得金額 (収入が給与だけの場合の収入金額)	基礎控除額			
	改正後		改正前	
	令和7・8年分	令和9年分以後		
132万円以下 (200万3,999円以下)	95万円		48万円	
132万円超 336万円以下 (200万3,999円超 475万1,999円以下)	88万円	58万円		
336万円超 489万円以下 (475万1,999円超 665万5,556円以下)	68万円			
489万円超 655万円以下 (665万5,556円超 850万円以下)	63万円			
655万円超 2,350万円以下 (850万円超 2,545万円以下)	58万円			

## ② 給与所得控除の見直し

給与の収入額	給与所得控除額	
	改正後	改正前
162万5,000円以下	65万円	55万円
162万5,000円超 180万円以下		その収入金額×40%－10万円
180万円超 190万円以下		その収入金額×30%＋8万円

➡ **③ 特定親族特別控除の創設**（年齢19歳以上23歳未満の親族で、合計所得金額が58万円超123万円以下の人が対象）

特定親族の合計所得金額 (収入が給与だけの場合の収入金額)		区分 (居住者)	区分 (非居住者)	特定親族特別控除額
58万円超 85万円以下	(123万円超 150万円以下)	10	11	63万円
85万円超 90万円以下	(150万円超 155万円以下)	20	21	61万円
90万円超 95万円以下	(155万円超 160万円以下)	30	31	51万円
95万円超 100万円以下	(160万円超 165万円以下)	40	41	41万円
100万円超 105万円以下	(165万円超 170万円以下)	50	51	31万円
105万円超 110万円以下	(170万円超 175万円以下)	60	61	21万円
110万円超 115万円以下	(175万円超 180万円以下)	70	71	11万円
115万円超 120万円以下	(180万円超 185万円以下)	80	81	6万円
120万円超 123万円以下	(185万円超 188万円以下)	90	91	3万円

※親族の合計所得金額が58万円以下の場合は扶養控除の対象となります。  
(年齢19歳以上23歳未満の親族は特定扶養親族に該当し、扶養控除額は63万円です。)

#### ④ 扶養親族等の所得要件の改正

【所得要件】

扶養親族等の区分	所得要件(収入が給与だけの場合の収入金額)	
	改正後	改正前
扶養親族 同一生計配偶者 ひとり親の成型を一にする子	58万円以下 (123万円以下)	48万円以下 (103万円以下)
配偶者特別控除の対象となる配偶者	58万円超 133万円以下 (123万円超 201万5,999円以下)	48万円超 133万円以下 (103万円超 201万5,999円以下)
勤労学生	85万円以下(150万円以下)	75万円以下(130万円以下)